

小 形 除 雪 車

(1 . 5 m 級ロータリ除雪車)

仕 様 書

令 和 7 年 度

五 所 川 原 市

小形除雪車仕様書
(1 . 5 m 級ロータリ除雪車)

概 要

この仕様書は、ロータリ除雪車（1．5m級）に適用するもので、納入機は下記に定める性能、諸元、各部構造その他を満足するほか、道路除雪作業の使用に耐え得る十分な耐久性、信頼性と、良好な操縦性能を有するものとする。

納入機は、運輸省令昭和26年第67号（以降の改正分を含む）「道路運送車両の保安基準」に適合するものでなければならない。

ここに明記されていない箇所については五所川原市（以下「発注者」という）と物品供給人（以下「受注者」という）が協議のうえ決定するものとする。

- | | |
|--|--------------------|
| 1. 数 量 | 1 台 |
| 2. 性 能 (JIS D6509 性能試験) | |
| (1) 最大除雪量 | 950t/h 以上 |
| (2) 投雪距離 | 0～32m以上 |
| (3) 最大除雪幅 | 1,500mm |
| (4) 最大除雪高 | 1,150mm |
| (5) 走行速度 前進 | 35km/h 以上 |
| 後進 | 10km/h 以上 |
| (6) 最小回転半径（最外側車輪中心） | 4.4m以下 |
| (7) 騒音レベル | |
| 「騒音障害防止のためのガイドライン」（厚生労働省令和5年4月20日基発0420第2号） 第I管理区分に準ずる。（測定方法は JCMAS H011 の機械定置時による） | |
| 3. 主要諸元 | |
| (1) 全 長（走行姿勢） | 6,000mm 以下 |
| (2) 全 幅（除雪装置含む） | 1,500mm 以下 |
| （除雪装置除く） | 1,480mm 以下 |
| (3) 全 高（黄色灯火上端まで） | 2,880mm 以下 |
| (4) 最低地上高 | 200mm 以上 |
| (5) 車両総質量 | 7,300kg 以下 |
| なお、「8. 付属装置及び付属品 8－2 車両総質量に含まないもの」以外は、本車両総質量に含むものとする。 | |
| (6) 乗員定員 | 2名 |
| 4. 車 体 | |
| (1) 機 関 | |
| 形 式 | 水冷、ディーゼル機関 |
| 定格出力 | 90kW 以上 |
| (2) 駆動方式 | |
| 形 式 | 総輪駆動式 |
| (3) タイヤ | |
| 形 式 | スノータイヤ、又はスタットレスタイヤ |

(4) 走行装置

後車軸もしくは前後車軸に懸架装置を有すること

(5) かじ取り装置

形 式

油圧式車体屈折機構式

(6) 運 転 室

構 造

全鋼製密閉形

窓

前面、後面

熱線入り合わせガラス

ワイパー

前面、後面

冬用ワイパーブレード付

ハンドル位置

左ハンドル

5. 除雪装置

(1) 形 式

ツーステージ形、ロータリ除雪装置（幅 1.5m）、雪切板（地上高 1.800mm 以上）

(2) 構 成

オーガ・ブロワ・放出角可変形ブロワケース・伸縮起倒式シュート・油圧式チップバック

(3) 能 力

ブロワ放出角度

右 40 度～左 55 度以上

シュート旋回角度

340 度以上

シュート高さ

3,350mm 以上

昇降範囲

地下 50mm～地上 320mm 以上

チルト角度

左右各 5 度以上

シュート

除雪装置の接地状態を調整できるシュートを有すること

安全装置

除雪装置に過大な負荷や衝撃が生じた場合、（シャープピンの切断等により）除雪装置の破損を防止する安全装置をオーガ系、ブロワ系に各々設けること。また、オーガ空転防止装置を設けること。

その他

ブロワケース、シュート系統、装置チルトは油圧作動とする。

6. 計器類

(1) 運行記録計（45km/h 以上、7 日計及び 26 時間計兼用形）

1 式

(2) 機関回転計

1 式

(3) 燃料計

1 式

(4) アワーメータ

1 式

(5) 油圧計又は油圧警告灯（走行用油圧回路補給用）

1 式

(6) 油温計又は油温警告灯（走行用油圧回路用）

1 式

(7) 水温計

1 式

(8) 充電警告灯

1 式

(9) 機関油圧計又は機関油圧警告灯

1 式

7. 照明装置類

(1) 前部作業灯

2 灯

(2) 黄色灯火（散光・回転式）

前 回転式 ϕ 100mm 以上

1 式

後 散光式 幅 550mm 以上

1 式

(3) 後方作業灯

1 灯

(4) 作業灯（シュート部）

1 式

(5) 車幅灯

1 式

(6) 前照灯

2 灯

(7) ステップランプ

1 式

| | |
|--------------------------|----|
| (8) 前方作業灯増設 (運転室前部、LED式) | 2灯 |
| (9) 後方作業灯増設 (運転室後部、LED式) | 2灯 |

8. 付属装置及び付属品

8-1 車両総質量に含むもの

| | |
|---|----|
| (1) バックブザー | 1式 |
| (2) エアコン装置 (デフロスタ付) | 1式 |
| (3) ウインドウォッシャー (前面、電動式) | 1式 |
| (4) 標識板 (「五所川原市除雪車」300×575mm 程度、車体後部取付) | 1式 |
| (5) 注意標識板 (「除雪作業中接近注意」、車体後部取付) | 1式 |
| (6) ルームミラー、アンダーミラー (前、後、サイド) | 1式 |
| (7) バックミラー (熱線入り) | 1式 |
| (8) 床マット (ゴム製) | 1式 |
| (9) 非常信号用具 (発炎筒1、赤旗1) | 1式 |
| (10) けん引装置 (固定式) | 1式 |
| (11) バッテリーメインスイッチ (切替装置) | 1式 |
| (12) 車載用拡声器、アンプ、マイク | 1式 |
| (13) 後方確認装置 (バックカメラ、熱線付き、カラー) | 1式 |
| (14) 雪切板 (地上高1.800mm以上、左右) | 1式 |
| (15) 消化器 (ABC粉末1.8kg以上) | 1本 |
| (16) ドライブレコーダー | 1式 |

8-2 車両総質量に含まないもの

| | |
|-----------------------|----|
| (1) 予備シャーペン | 1式 |
| (2) スコップ (角スコップでホルダ付) | 1式 |
| (3) 標準付属工具 | 1式 |
| (4) 取扱説明書 | 1部 |
| (5) 部品表 | 1部 |
| (6) 履歴簿 | 1部 |
| (7) タイヤチェーン | 1式 |

9. 塗 装

国土交通省建設機械塗装基準による。

10. 納入場所

五所川原市市スノーステーション (五所川原市大字金山字竹崎2 1 1 番地1)

11. 検 査

完成検査は、寸法、外観、溶接、その他組立状況を検査し、さらに車両や作業装置類の動作等の確認を行い全般的な機能を検査する。

ただし、車両総質量については、本仕様書で定めたとおりであるかを、その内訳が判る資料により検査する。

検査に要する器具、人員等は受注者において準備するものとする。

12. 保 証

納入後1箇年以内に設計製作上の欠陥によるものとみなされる故障が発生した場合には、受注者は無償修理を行わなければならない。ただし、製作会社等が別に定めた保証期間が1箇年以上にわたる場合にはそれを適用する。

特に重大な故障が発生したときは、上記期間経過後であっても、発注者と受注者が協議のうえ、受注者に無償修理を行わせることがある。

13. その他の事項

13-1 納入機の指定について

納入機は新品でなければならない。

13-2 灯火の取付方法の指定

黄色灯火の取付方法は、次のとおりとする。

イ) 黄色灯火の規格、取付位置については、「道路維持作業用自動車及び道路管理用緊急自動車の取扱について（昭和55年6月5日付け、建設省機発第473号（以降の改正分を含む））」に準じるものとする。

ロ) 黄色灯火は、運転室又は作業装置上部に堅固に取付け、黄色灯火の重量、振動に耐えるよう取付部分に必要な補強を行うものとする。

13-3 提出図書の言語の指定

取扱説明書など提出を義務づけられた図書に使用する言語は、日本語とする。

13-4 緩和申請等について

本履行にあたり、車両登録、基準緩和の申請及び道路維持作業車の申請・届出については受注者が行うものとする。また、これらにかかる費用は受注者の負担とする。

ただし、これにより難しい場合は発注者の指示を受けるものとする。

(1 . 5 m 級 ロ ー タ リ 除 雪 車)

仕様書によるほか、次の各号によるものとする。

- 1 車体の塗装は、2009 年度の日本塗装工業会塗料標準色の E17-70X とする。
- 2 バンパーを有する車種については、バンパーを塗装するものとする。なお、バンパーを有しない車種にあっては、これに準ずる箇所に塗色する。この場合、後部の赤色部分には反射塗料を使用するものとする。
- 3 作業装置の危険表示については、除雪装置の回転部分及びプラウ前面は赤色として、その他は赤白の縞塗料を施す。
- 4 市の指示する箇所に「五所川原市」と黒丸ゴシックで大きく記入するものとする。左右側面に白色帯を塗装するものとする。
- 5 建設機械管理番号を、車両運転席の両側面に、市の指示するそれぞれの位置に記入または金属板等にて取付けるものとする。建設機械管理番号は、「SR07-001」である。
- 6 「社会資本整備総合交付金事業」の表示を、車両の両側面に、市の指定するそれぞれの位置に金属板等にて取付けるものとする。
- 7 車体の後部に取り付ける標識板は、市の指示する位置に取付けるものとする。なお標識板は脱着できるものとする。
- 8 黄色灯火の取付位置は、前後方向からの視認性を十分考慮し、原則として運転室屋根中央部の車両中心線上に取付けるものとする。
- 9 車両は、「道路運送車両法の保安基準」で定める車体検査を受けた後納入するものとする。なお、「自動車損害賠償責任保険」は、別途支払うものとする。
- 10 建設機械履歴簿には、仕様書等の必要事項を記入または貼付し、車検証の写しや車両の前面、後面及び両側面からの写真、及び付属品の写真を所定の場所に貼付するものとする。また、写真データを CD 等で提出すること。
- 11 前各号で必要となる一切の経費は、受注者の負担とする。
- 12 仕様書に記載のない事項及び機械形状等により、文字位置・寸法及び表示箇所等の変更が必要な場合については、市担当者と協議の上で変更ができるものとする。